

## (公財) 北海道サッカー協会 強化指定審判員担当インストラクター スキルアップ研修会①報告書

1. 日 時 令和7年4月13日(日) 9時～16時
2. 場 所 よつ葉アリーナ十勝1階会議室 A,B
3. 参加者 講 師：村山 尚哉 (HKFA 審判委員会指導者部、サッカー1級審判インストラクター)  
古曽部 統太郎 (HKFA 審判委員会育成部、サッカー1級審判インストラクター)  
木村 博之 (HKFA 審判委員会強化部、1級審判員 (PR) )  
受講者：11名
4. 研修内容 **主な研修内容は以下のとおり。**
  - 開講式
  - 講義① ・2025シーズンに向けて (村山)
  - 講義② ・アセッサー評価について、評価のポイント (古曽部)
  - 昼食・休憩
  - 講義③ ・判定で心掛けているポイント、アセッサーとしてみる視点、ポイント (木村)
  - 講義④ ・事象分析について、実践 (村山、古曽部、木村)
  - 閉講式・振り返り・解散



### 【HKFA 審判委員会指導者部 部長 村山尚哉】

例年開催している開幕前強化指定審判員担当インストラクタースキルアップ研修会、今年度も帯広にて開催しました。今回は講師も3人体制で、よりテクニカルな部分に重視して講義を行いました。審判指導者として最も求められているスキルの一つである事象分析を軸に、自分からは2025シーズンに向けてお話をさせていただきました。JFL プールアセッサーでもある古曽部1級INSには、評価するためのみるポイントや観点など、映像を交えて確認していただきました。木村PRには判定する上で心掛けているポイントや、的確な判定に繋げるための考慮事項の整理、指導者目線では気づいて欲しい場面など、こちらも映像を交えて説明していただきました。講義の最後には3つの事象を参加者に分析していただき、グループディスカッション交えて判定の根拠について共有しました。今回の研修を今シーズンの審判指導、そして的確な評価へ繋げて欲しいと思います。今シーズンもよろしくお願いいたします。

以下、参加者からのコメントです。



#### 空知地区 矢野 宏和

スキルアップ研修会に昨年に引き続き参加させていただきました。強化指定担当インストラクターとして活動するにあたり、どのように事象分析をしていくか、審判員との接し方を学び再確認させていただきました。

また、レフェリーチームとしての評価や、分析にあたる考慮事項の再確認をする有意義な時間となりました。

私自身が角度を決めず、広い視野で分析していくことで、審判員の可能性や選択肢を増やしていくのが大切だと感じました。

本日学んだ事項を整理し、活動に役立てていきたいと思っています。

#### 小樽地区 初山 智哉

この度、スキルアップ研修会に参加させていただき、魅力あるサッカーへ繋げるために、我々インストラクターとして、1試合の中の様々な事象を正しく捉え、審判員のスキル向上に向けて論理的にアプローチできるよう、各セクションを通して学びました。

古曽部サッカー 1級インストラクターの講義では、映像を用い、事象分析方法をグループディスカッション形式で行いました。その中でインストラクターとして、審判員へ「何を・どのように」アプローチすれば審判員のスキルはもとより、魅力あるサッカーに近づけるのかを考えることができました。

また、木村博之サッカー 1級審判員の講義では、サッカーや審判員に求められていることや、審判員として1つの事象に対しての考え方（予期予測→見る→情報収集→判断）に関して映像をもとに細分化し、ご教授いただきました。

今回の研修会で学んだことを生かし、北海道強化指定審判員のスキル向上と、サッカーの一層の魅力化へ役立てることができればと感じます。今回ご指導いただきました村山サッカー 1級インストラクターをはじめ講師の方々に感謝申し上げます。

